

平成16年12月期

第1四半期業績の概況(連結)

平成16年5月21日

上場会社名 フジコピアン株式会社

コード番号 7957

(URL http://www.fujicopian.com)

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 赤城 貴太郎

問合せ先責任者 役職名 執行役員 管理部長 氏名 池野 眞朗

上場取引所 大

本社所在都道府県 大阪府

TEL (06) 6471-7071 (代表)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無

2. 平成16年12月期第1四半期の業績概況(平成16年1月1日~平成16年3月31日)

(1) 売上高 (単位 百万円:未満切捨)

	売上高	
	百万円	%
16年12月期第1四半期	3,173	()
15年12月期第1四半期	()	()
(参考)15年12月期	13,570	

(注)当該四半期より四半期業績の概況の開示を行っているため、前年同四半期の実績および増減率については記載しておりません。

【売上高に関する補足説明】

当第1四半期におけるわが国経済は、外需主導による景気回復が継続する一方、為替の変動、消費の低迷など不透明な状況で推移しました。また、海外においてもミラク問題の長期化、原油価格の高騰など不安定な状況が続きました。

こうした状況の下、当グループは既存品の拡販、新規品の開発・販売に努めてまいりました。この結果、バーコード、ファクシミリを軸としたサーマルトランスファーマEDIAおよび修正テープが堅調に推移し、当第1四半期の売上高は3,173百万円とほぼ予定通りの推移となりました。

なお、当社を含む日本のリボンメーカー7社は米国において一部のサーマル製品についてアンチダンピングの申し立てを受けておりましたが、平成16年4月、ダンピングの事実はないとする決定が下りました。なお、当社から米国への当該サーマル製品の輸出は少額であり、本件の業績予想への影響はありません。

(2) 当該四半期において企業集団の財務状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当事項はありません。

3. 平成16年12月期の連結業績予想(平成16年1月1日~平成16年12月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	6,400	250	200
通期	13,200	600	500

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 28円18銭

【業績予想に関する定性的情報等】

業績予想につきましては、当初予想と変更はありません。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因にかかる本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。